

基本設計図（舞台機構）

工事概要	工事名称	京都会場
	工事内容	舞台機構設備工事 (吊物機構設備、床機構設備)
一般事項	適用範囲	本特記仕様書は、上記の工事概要における工事内容に適用する。
	適用規準類	本特記仕様書を適用するにあたって、建築基準法、労働安全衛生法等の法令、規則による他、必要に応じて、以下に定める指針、規準、規格等を適用する。 懸垂物安全指針・同解説 (日本建築センター) 建築設備耐震設計・施工指針 (日本建築センター) J A I E T M - 6 0 吊物機構安全指針・同解説 J A I E T M - 8 0 床機構安全指針・同解説 (劇場演出空間技術協会) 日本工業規格 (J I S)
	設計図書	設計図書とは、本特記仕様書及び図面 (現場説明書及び質疑応答書を含む) をいう。
	監督職員	監督職員とは、契約書に規定する監督職員、監督員及び監督官をいう。
	設計図書の優先順位	すべての設計図書は、相互に補完するものとする。ただし、設計図書間に相違がある場合、設計図書の優先順位は、次の (1) から (3) の順番のとおりとし、これにより難い場合は疑義に対する協議及び現場の納まり等の関係による協議による。 (1) 現場説明書 (2) 質疑応答書 (3) 本特記仕様書 (4) 図面
	疑義に対する協議	設計図書に明示のない場合又は疑いを生じた場合は、監督職員と協議する。
	現場の納まり等の関係による協議	現場の納まり、取合い等の関係で、設計図書によることが困難又は不都合な場合は、監督職員と協議する。
	協議の結果の処置	監督職員と協議を行った結果、必要があると認められる場合は、設計変更が行われる。設計変更に至らぬ監督職員が指示した事項又は監督職員と協議した事項についてはこれを記録し、監督職員に提出する。ただし、軽易な事項については省略することができる。
	実施工程表	着工に先立ち、実施工程表を作成し、監督職員の承諾を受ける。
	施工計画書等	工種別に、機器、機材、工法などを具体的に定めた施工計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。施工計画書に基づき、作業のやり方等を記載した要領書 (検査内容も含む) を監督職員に提出する。ただし、施工計画書等の作成の必要性の少ないものは、監督職員の承諾を受けて省略することができる。
	設計用荷重	設計用荷重は下記によるものとし、各荷重に対し必要な強度を備えなければならない。 (1) 自重 (2) 積載荷重 (3) 駆動装置の起動、停止 (加減速) により作用する衝撃荷重 (発停荷重) (4) 駆動装置定常運転により作用する荷重 (駆動荷重) (5) 地震荷重
基準強度	機器機材の強度は、建築基準法の規定及び各種基準による他、用途、使用頻度、荷重状況、信頼性等を考慮して、各メーカーの示す、選定条件を満たす使用範囲内のものとする。	
特許に関する件	材料・機構又は、工法が第三者の所有する特許権にふれるおそれのある場合は、あらかじめ、その権利の使用に対する諸手続きを行い、第三者の権利を侵害する様な行為をしてはならない。万一、第三者の特許権を侵害した場合は、請負者の責任において、解決する。	
工事完成後の提出書類	工事竣工引渡し後 1 カ月以内に提出する。	
無償保守及び保証期間	本工事引渡し後保証期間内に生じた製作・施工の欠陥による故障・破損は、速やかに無償修理を行う。 又、本工事引渡し日から 3 カ月間、月一回の保守点検調整を行う。 尚、機器の保証期間は、引渡し日から 12 カ月間とする。	

機器性能	電動機	機構の用途、荷重、昇降 (移動) 速度、起動停止制御、速度制御、周囲環境等に適した形式、容量のものを選定する。
	減速機	荷重、減速比、使用時の回転数 (変速式にあつては回転数範囲)、効率、逆転効率等の適したものを選定する。
	ブレーキ	機構の荷重、速度、制動時の滑り等に適したものであり、電動機の起動、停止と連携して動作すること。ブレーキの保持はスプリングによるなど、動力を必要としない方式とし、制動トルクは停止状態を保持するために必要なトルクの 1.5 倍以上とする。
	巻取ドラム	巻満は使用するワイヤロープに適した形状とし、巻取ドラムの直径は使用するワイヤロープの公称径またはロープ径の 3.0 倍以上とする。巻取ドラムの巻満と巻取るワイヤロープとのなす角度は 4 度以下とする。
	機械台	十分な強度の部材を組合せた上に、電動機・減速機・巻取ドラム等の駆動機器を精密に組立て、複数のボルト、又はアンカボルトにて固定する。
	滑車類	用途、荷重に適したものを堅固に据え付ける。滑車のワイヤ溝とワイヤロープとのなす角度 (フリートアングル) は 2 度以下とする。ワイヤ溝は使用するワイヤロープに適した加工をし、その直径 (ピッチ径) は使用するワイヤロープの公称径またはロープ径の 2.5 倍以上とする。ただし滑車の直径については、ワイヤ受け車等の荷重の支持を目的としないもの及び安全上支障のない用途ではこの限りではない。
	元滑車 (ガイドプーリ)	用途、荷重に適したものを堅固に据え付ける。滑車のワイヤ溝とワイヤロープとのなす角度 (フリートアングル) は 2 度以下とする。ワイヤ溝は使用するワイヤロープに適した機械加工をし、その直径 (ピッチ径) は使用するワイヤロープの公称径またはロープ径の 2.5 倍以上とする。
	パトン (吊物用パイプ)	用途、荷重に応じて適切なパトン形式、サイズを選定する。吊荷重に変動のあるパトンには許容積載荷重を表示する。
	鉄骨フレーム	吊物機構用 使用目的、強度、並びに重量等を考慮した材料を溶接、又はボルト止めする。組立てボルトは、中ボルトを使用し、懸垂荷重等による応力・変形に十分耐えうる構造とする。床機構用 使用目的、強度、並びに重量等を考慮した材料を使用し、搬入の都合上、単一部材に継手を設ける場合は、溶接、又は高力ボルト止めとする。許容タワミ量は静止時、最大荷重にて 1 / 1000 から 10 mm を超えないものとする。
	ワイヤロープ	J I S マーク表示品またはこれと同等の製品とする。ワイヤロープに加わる荷重は、定格積載の機構静止時において J I S 破断荷重の 1 / 10 以下とする。ワイヤロープとパトンその他の機構機器等との接続は適切な取付金物等を用い端部は一本ごとに緊結する。
	引綱ロープ (手動用引綱)	引綱ロープに加わる荷重は定格積載の吊物機構静止時において、そのロープの引張強さの 1 / 10 以下とする。
	カーテンレール	用途、荷重に応じた形式、材質のレールを使用し、吊荷重に耐え、幕の開閉が円滑に行える構造とする。
	歯車	荷重、減速比により選定された材質、寸法のを機械加工し、回転を確実に伝達する構造とする。
	スクリュー及びナット	荷重、速度により、ネジ型式、寸法、及び材質を選定し、機械加工を施す。強度、耐摩耗性に優れた確実に荷重を支持できる構造とする。
	伝達軸	目的に応じた材質、寸法のを機械加工し、適切な継手及び軸受けで固定する。
手動ウインチ	機構の荷重に適した手動ハンドル式とし、手を放した状態でも自動的にブレーキが作動する構造とする。ウインチを昇降用として用い、定格積載が 100 kg 以上の場合は、巻取ワイヤを 2 本以上使用する。	
スパイラルリフト	荷重、速度等の使用条件に対して、製造所の推奨するサイズを選定する。	
アンカボルト	構造躯体に直接昇降機構、床機構等を取付けるアンカボルトは、許容引抜き荷重に十分に余裕のあるものを使用し、ゆるみ、抜け出し等を起こさないように確実に取付ける。施工は、コンクリートの強度が設計基準強度に達した後に行う。	

機器性能	リミットスイッチ	動力を用いた機構もしくは電気的な確認を必要とする機構において、使用条件に応じ、プランジャ型、ローラレー型等のリミットスイッチを、カム、けり金具、又はブレーキ本体等で動作させ、用途に必要な停止位置、動作範囲の限度、または確認位置で、自動的に電気回路の開閉が行えるものとする。			
	制御盤	各装置の使用目的に応じた配線用遮断器・電磁接触器・補助継電器・端子台等を取付板に組立てる。操作盤 (操作部) の操作に対応して、舞台機構を適切に起動停止し、速度等を制御する。			
	操作盤	適切に操作できる場所に設置し、操作に必要な総ての押釦・表示灯等を組込み、配列・意匠・塗装色等は監督職員の承諾を受ける。			
	レベル設定器	デジタル設定式 各装置別に停止位置を指令し、パルスエンコーダを作動させ、指令値と一致した時、自動的に停止させる機能を有するもので、現在値をデジタル表示させる。 テンキー設定式 (タッチパネル) P L C を使用し、操作スイッチ、テンキーにより装置、停止位置、速度を指令し、パルスエンコーダを作動させ設定された速度で実行され、レベルは指令値と一致した時、自動的に停止させる機能を有するもので、装置、現在値等をタッチパネルに表示させる。			
	過負荷防止装置	積載荷重の状態をセンサーで検知し、操作盤に荷重情報を数値表示させる。設計荷重 (許容荷重) 以上の積載となった場合は、駆動装置を作動を自動的に停止し、又は適正速度への変更をさせる。 (仕様一覧表の該当装置に取り付ける)			
	幕地	仕様書及び、設計図書に基づき、各幕地の製作及び吊込みをする。各幕地は見本品を提出し、監督職員の承諾を受けた後、染色・仕立てを行う。製作に際し、消防法に基づき、防火加工を施し、防火マークを各幕幕 (裏面) に貼り付ける。各幕上部には、吊り下げに必要な紐を、約 300 mm ピッチに取付ける。中央の紐は、色の異なる紐とする。			
	塗装	工場において加工又は組立てを終了した部材は、検査終了後、発送に先立ち錆止めの塗装、仕上げ塗装を施す。但し、現場溶接部は、現場塗装をする。刷毛塗りは、刷毛目を揃え、塗り落とし、たまり、流れあわ等の欠点の生じない様に塗る。吹き付け塗装には、塗装用のスプレーガンを用い、ガンの種類、口径及び空気圧は、用いる塗料により適切なものを選び、吹きむらのないように塗装する。鋼材を用いた主要な部材は、表-1 による。制御盤、操作盤は表-2 による。			
	表-1 フタル酸樹脂エナメルペイント塗装				
	工程	塗装回数	塗装種別	重ね塗り乾燥時間	膜厚 μm
	1	素地調整	サンダクリーナー・スクレーパー等で赤錆は出るだけ除去する。水分、油脂分、塵埃は消拭する。		
	2	下塗	JSK5621 一般錆止めペイント	4時間以上	30以上
	3	上塗	JSK5672 フタル酸樹脂エナメルペイント	1時間以上	25以上
	総膜厚 55 μm 以上				
	表-2 メラミン樹脂焼付塗装				
	工程	塗装種別	焼付温度 乾燥時間	膜厚 μm	
1	素地 こしら え	素地調整	リン酸塩処理済鋼板 脱脂・表面研磨、素地面の不純物を除去	20以上	
		バテ処理 バテ乾燥	ポリエステルバテにて拾いバテ 常温4時間		
	バテ研ぎ	# 150 ~ # 220ペーパー			
2	下塗	下塗	アミノアルキド樹脂系下地塗料	130℃ 20~25分	
		セッティング		10~15分	
3	中塗	中塗	メラミンアルキド樹脂系塗料	130℃ 20~25分	
		中研ぎ	# 220 ~ # 320ペーパー		
4	上塗	上塗	メラミンアルキド樹脂系塗料	130℃ 20~25分	
		自然放冷			
総膜厚 60 μm 以上					

工事区分表	工 事 項 目	建築	電気	舞台機構	舞台照明	その他
	すのこ工一式 (主鉄骨、滑車駆動マシン受材、すのこ板並びに端部受材、アンカボルト、吊材、搬入用取外し式蓋並びに吊フック)	○				
	すのこにおける舞台機構設備機器取付工事 (取付穴あけを含む)			○		
	すのこにおける加工部の補強並びに錆止め塗装			○		
	ギャラリ工一式 (手摺、階段、カーベット又はビニールタイル貼り又は防塵塗装等の床仕上げを含む)	○				
	音響反射板鉄骨フレーム			○		
	音響反射板木仕上げ工一式 (根太、枝木等を含む)	○				
	音響反射板組込み照明器具の製作取付工一式 (ケーブル工事共)				○	
	音響反射板旋回アーム支持部の建築構造補強工事	○				
	客席照明パトンの天井ボックス、ワイヤー貫通孔工事	○				
	客席開閉蓋の可動フレーム工事			○		
	客席開閉蓋木仕上げ工一式 (根太、枝木等を含む)	○				
	ライトブリッジ、サイドブリッジ鉄骨フレーム			○		
	同上の可動式渡り橋			○		
	床機構用昇降路、マシンピットの躯体構造及び防水工一式	○				
	マシンピット部マシンビーム用基礎及びモルタル充填工一式	○				
	マシンピットの点検口、扉、蓋及び階段、タラップ工一式	○				
	奈落、ピット等の床開口及びコーナアングルとその取付工一式	○				
	奈落、ピット通路部の固定防護柵、防護ネット、扉、手摺等製作取付工一式	○				
	奈落乗場の昇降手摺の製作取付工事			○		
	迫り鉄骨フレーム			○		
	迫り床面、腰部の木仕上げ工一式 (大引、根太等を含む)	○				
	客席ワゴン鉄骨フレーム (通路部埋台部を含む)			○		
	客席ワゴンの木仕上げ工一式 (大引、根太、カーベット等を含む)	○				
	オペキット客席着脱式手摺工事	○				
	客席ワゴン用ガイドレール製作取付け工事			○		
	迫り用ガイドレール製作取付け工事			○		
	迫り用ガイドレール支持鉄骨工事	○				
	舞台機構制御盤までの一次側電源供給接続工事		○			
	舞台機構制御盤からの二次側配管・配線工事			○		
	すのこ・網元・ギャラリの作業灯及びコンセント		○			
	照明機器工事 (ケーブル工事共)				○	
	舞台機構主操作盤より、副操作盤までの配管・配線工一式		○			
	諸幕の製作・吊込工事					○
	大道具備品の製作・搬入工事					○

吊物機構仕様一覧表

No.	装置名称	台数	寸法 (mm)	駆動方式	機構方式	自重 (kg)	積載量 (kg)	速度 (m/min)	ワイヤー径	吊数	動力	操作方式	制御方式	レベル設定表示	同期運転	過負荷検知表示	備考
1	客席天井開閉蓋	1	21,000	旋回	電動ドラム巻取式	1700	0	2	φ6	8	1.5kw	押釦スイッチ	直入れ始動	--	--	--	仕上げは、建築工事
2	客席照明ボタン	3	20,000	昇降	電動ドラム巻取式	250	1000	10	φ6	8	5.5kw	押釦スイッチ	インバータ	○	--	○	
3	オペラカーテン	1	25,000	昇降	電動ドラム巻取式	610	400	~90	φ6	8	22kw	押釦スイッチ	インバータ	○	--	--	
				開閉	電動ドラクシオン式		400	~75	--	--	0.75kw	押釦スイッチ	インバータ	○	--	--	
				絞り	電動ドラム巻取式		400	~90	φ6	2	7.5kw	押釦スイッチ	インバータ	○	--	--	
4	暗転幕ボタン	1	24,000	昇降	電動ドラム巻取式	300	※max 1000	~90	φ6	8	18.5kw	押釦スイッチ	インバータ	○	○	○	
5	吊物ボタン (天反前吊)	1	24,000	昇降	電動ドラム巻取式	600	9000	3	φ18	8	11kw	押釦スイッチ	抵抗始動	○	--	--	
6	吊物ボタン	30	24,000	昇降	電動ドラム巻取式	300	※max 1000	~90	φ6	8	18.5kw	押釦スイッチ	インバータ	○	○	○	
7	ライトブリッジ	4	24,000	昇降	電動ドラム巻取式	4500	3000	5	φ10	16	11kw	押釦スイッチ	インバータ	○	--	--	渡り橋 (スライド式 0.4kw x 2) ブリッジ内設 落下防止レール付
8	サイドブリッジ1	2	4,200	昇降	電動ドラム巻取式	800	1000	5	φ10	4	5.5kw	押釦スイッチ	インバータ	○	--	--	渡り橋 (跳ね上げ式 0.4kw) 固定ギャラリーに設置 落下防止レール付
9	サイドブリッジ2	2	5,800	昇降	電動ドラム巻取式	1000	1000	5	φ10	4	5.5kw	押釦スイッチ	インバータ	○	--	--	渡り橋 (跳ね上げ式 0.4kw) 固定ギャラリーに設置 落下防止レール付
10	アッパーホリライト	1	24,000	昇降	電動ドラム巻取式	400	1500	10	φ6	8	5.5kw	押釦スイッチ	インバータ	○	--	○	
11	東西幕レール	2	17,000	開閉	固定吊/手引開閉式	400	100	--	φ6	6		--	--	--	--	--	ダブルレール式
12	天井反射板・正面反射板	1	--	昇降	電動ドラム巻取式	39000	200+100	2	φ25 x 8	2	11kw x 4	押釦スイッチ	抵抗始動	--	--	--	看板ボタン (手動ウインチ式 積載量 100kg)
13	側面反射板	2	--	昇降	電動ドラム巻取式	9500	0	2	φ22 x 2	2	5.5kw	押釦スイッチ	直入れ始動	--	--	--	

※道具バトンの速度と積載量

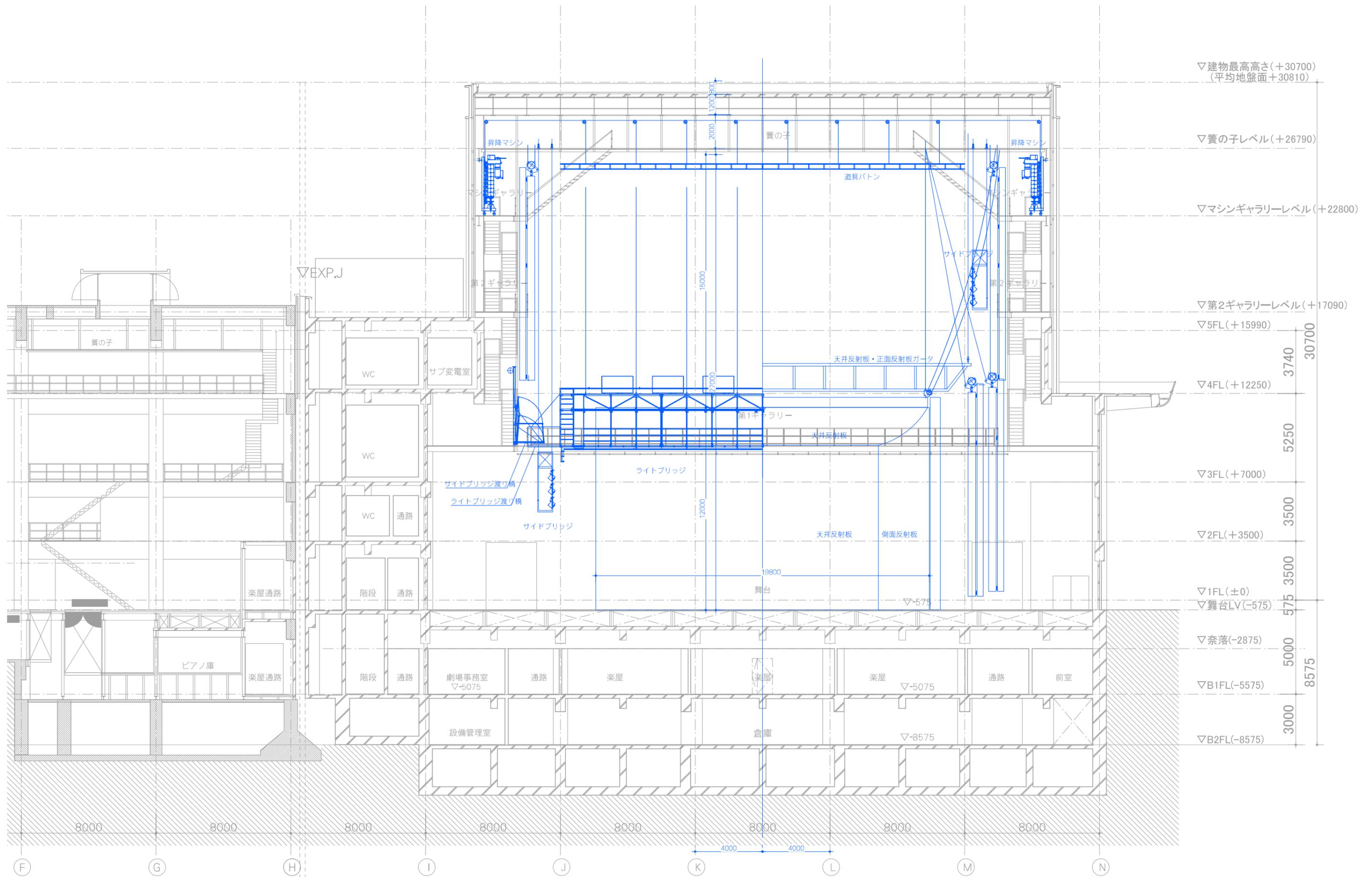
速度	積載量
0.2~30 m/min	1,000 kg
0.2~60 m/min	700 kg
0.2~90 m/min	250 kg

床機構仕様一覧表

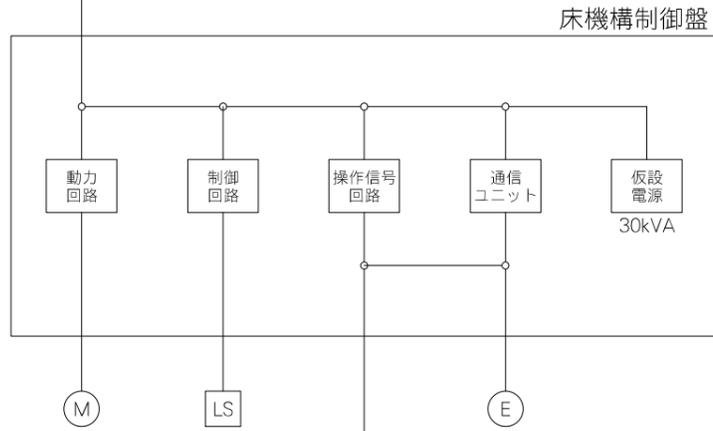
No.	装置名称	寸法 (mm)	面積 (m ²)	機構方式	台数	駆動方式	運転時積載量 (kg/m ²)	停止時積載量 (kg/m ²)	速度 (m/min)	ストローク (mm)	停止箇所	動力	操作方式	制御方式	備考
1	オケストラ迫り	24600 x 4660	約 98.2	昇降	1	スパイラ式	100	500	1.5	3900	5	30kw	押釦スイッチ	インバータ	着脱式手摺は建築工事
2	オケストラ小迫り	3800 x 1700	約 5.0	昇降	1	スパイラ式	100	500	1.5	5000	6	1.5kw	押釦スイッチ	インバータ	オケ迫りと連動運転、単独運転切り替え
3	客席ワゴン中央	8500 x 4660	約 40.0	走行	1	手動走行式	--	360	--	--	2	--	--	--	
4	客席ワゴン上手	8050 x 4660	約 28.2	走行	1	手動走行式	--	360	--	--	2	--	--	--	ワゴン間の埋台フレームは、機構工事 (仕上げは、建築工事)
5	客席ワゴン下手	8050 x 4660	約 28.2	走行	1	手動走行式	--	360	--	--	2	--	--	--	ワゴン間の埋台フレームは、機構工事 (仕上げは、建築工事)

舞台幕地仕様一覧表

No.	装置名称	幕地材質	幕幅 (mm)	幕丈 (mm)	ヒダ数	製作数	備考
1	オペラカーテン	ベルベット	13,500	14,500	2倍ヒダ	2	
2	暗転幕	ウルサージ	24,000	14,500	ヒダなし	1	
3	一文字幕	ウルサージ	24,000	6,000	ヒダなし	3	
4	一文字幕	ウルサージ	24,000	4,500	ヒダなし	2	
5	袖幕	ウルサージ	4,500	10,000	ヒダなし	10	
6	大黒幕	ウルサージ	24,000	10,000	ヒダなし	1	
7	東西幕	ウルサージ	1,800	10,000	ヒダなし	20	
8	ホリゾン幕	PVC	24,000	10,000	ヒダなし	2	ホワイト、グレー各1

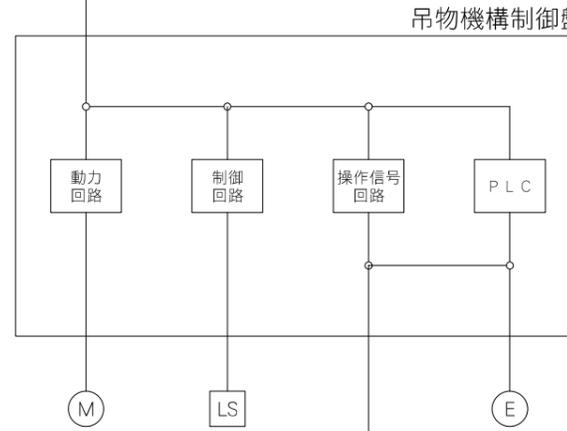


床電源容量
 オケ迫り同時起動時
 3φ 3W 200V 60Hz 定格時：45kVA 始動時：84kVA
 1φ 2W 100V 60Hz 15A
 接地線：INV用Ed×1、一般動力用Ed×1、計装用Ec×1

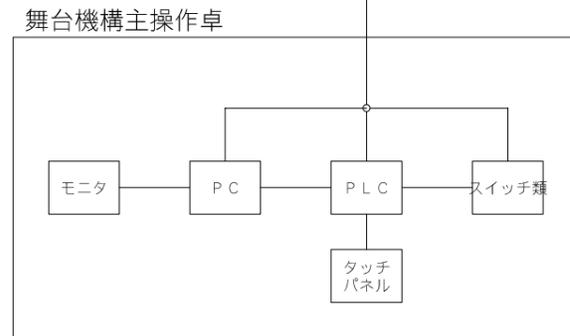
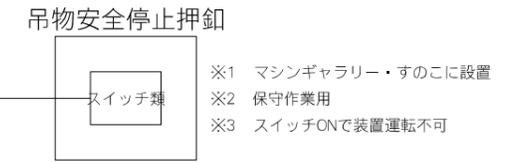
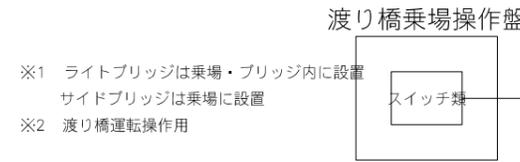
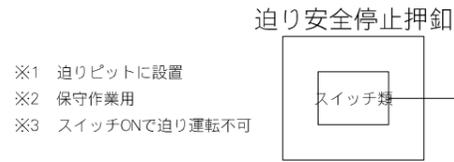


※ 仮設電源用ブレーカを設ける

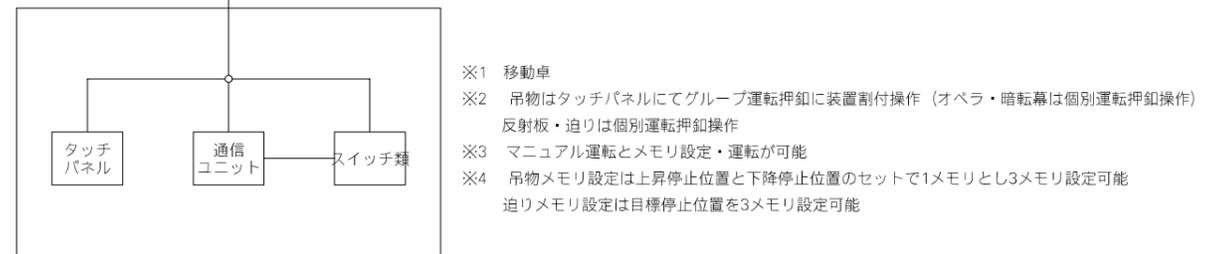
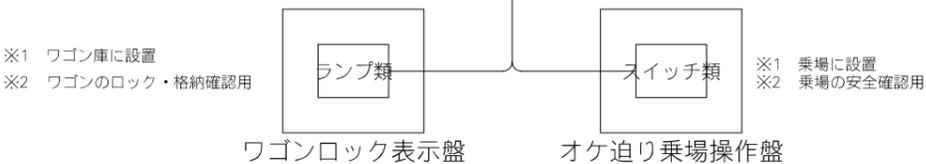
吊物電源容量
 吊物ボタン12台同時起動時
 3φ 3W 200V 60Hz 定格時：312kVA 始動時：554kVA
 1φ 2W 100V 60Hz 15A
 接地線：INV用Ed×1、一般動力用Ed×1、計装用Ec×1



※ PLCは吊物制御盤内機器を制御



- ※1 3階舞台機構操作室に設置
- ※2 吊物はタッチパネルにてグループ運転押釦に装置割付操作（オペラ・暗転幕は個別運転押釦操作）
反射板・迫りは個別運転押釦操作
- ※3 マニュアル運転とメモリ設定・運転が可能
- ※4 吊物メモリ設定は上昇停止位置と下降停止位置のセットで1メモリとし3メモリ設定可能
迫りメモリ設定は目標停止位置を3メモリ設定可能
- ※5 吊物シーン設定・運転が可能
- ※6 PLCは床制御盤・各操作盤及びマニュアル運転とメモリ設定・運転を制御
- ※7 PCはシーン設定・運転を制御



吊物電源容量

吊物ボタン12台同時起動時
3φ 3W 200V 60Hz 定格時：312kVA 始動時：554kVA
1φ 2W 100V 60Hz 15A
接地線：INV用Ed×1
一般動力用Ed×1
計装用Ec×1

吊物制御盤発熱量

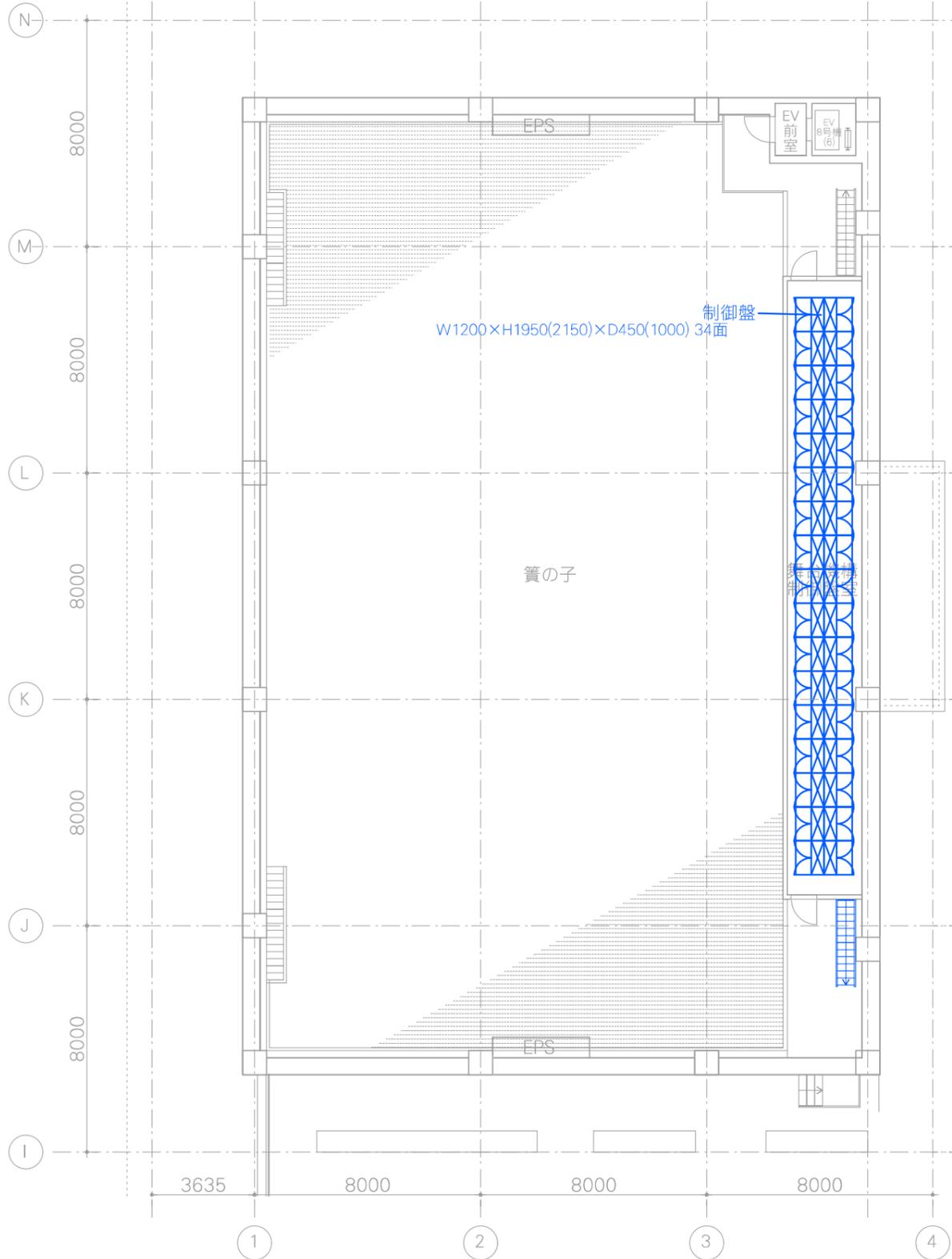
非稼働時（キースイッチOFF時）：2551W(2194kcal)
稼働時（稼働率1%）：4048W(3482kcal)

床電源容量

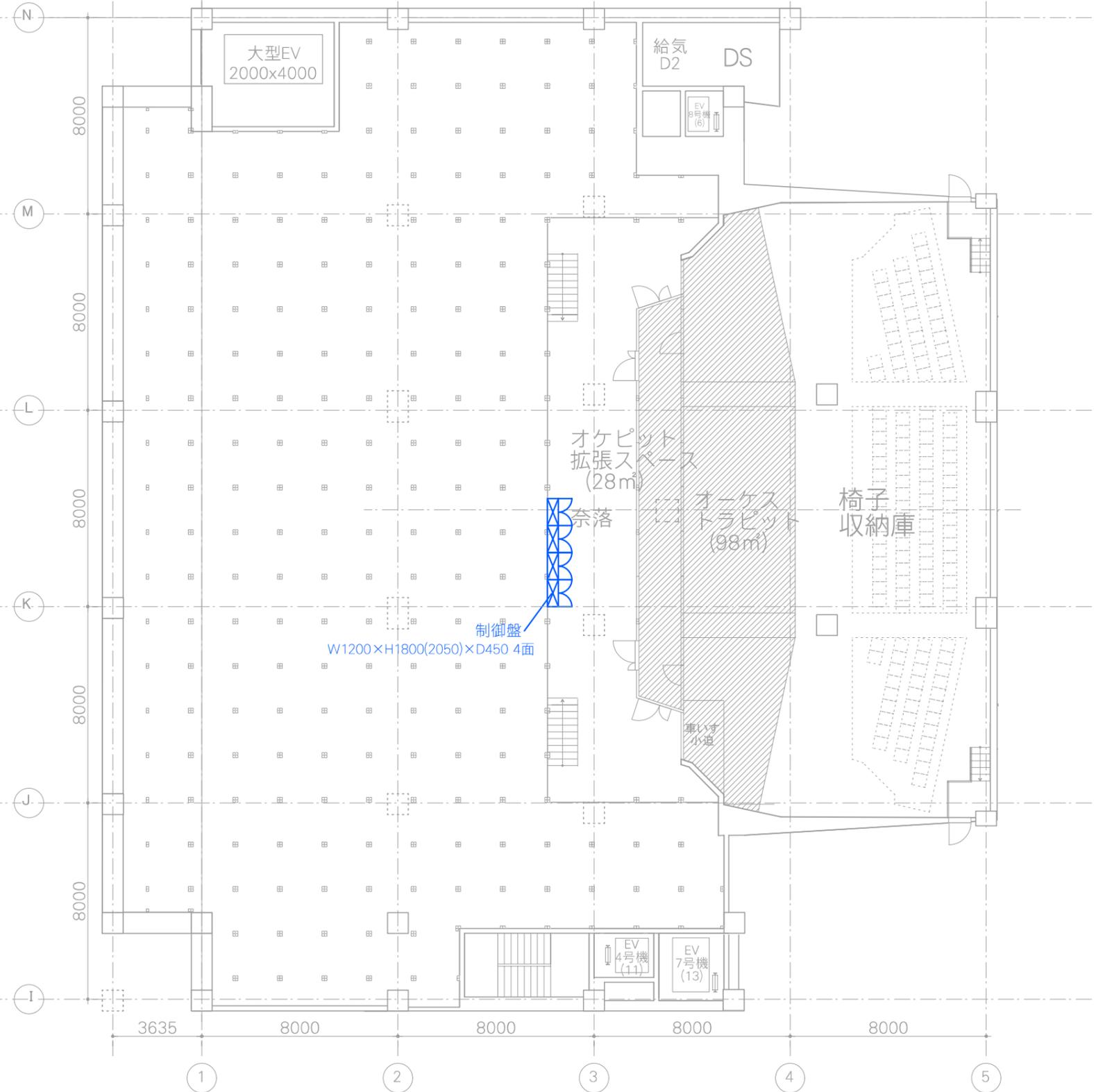
オケ迫り同時起動時
3φ 3W 200V 60Hz 定格時：45kVA 始動時：84kVA
1φ 2W 100V 60Hz 15A
接地線：INV用Ed×1
一般動力用Ed×1
計装用Ec×1
(制御盤内に仮設電源30kVA用ブレーカを設ける。オケ迫りとの同時使用はなし)

床制御盤発熱量

非稼働時（キースイッチOFF時）：560W(482kcal)
稼働時（稼働率6%）：719W(619kcal)



すのこ吊物機構制御盤配置図



奈落床機構制御盤配置図

吊物機構仕様一覧表

No.	装置名称	台数	寸法 (mm)	駆動方式	機構方式	自重 (kg)	積載量 (kg)	速度 (m/min)	ワイヤー径	吊数	動力	操作方式	制御方式	レベル設定表示	過負荷検知表示	備考
1	前天井反射板	1	図示	昇降	電動ドラム巻取式	9000	1000	3	φ10×2	12	15kw	押釦スイッチ	抵抗始動	—	—	
				変角	電動ドラム巻取式			2	φ6	7×20	0.75kw×2	押釦スイッチ	直入れ始動			
2	看板ボタン	1	20,000	昇降	電動ドラム巻取式	250	500	10	φ6	8	1.5kw	押釦スイッチ	直入れ始動	○	○	
3	絞り緞帳	1	20,000	昇降	電動ドラム巻取式	180	280	6~60	φ4	15	7.5kw	押釦スイッチ	インバータ	○	—	
4	吊物ボタン	3	20,000	昇降	電動ドラム巻取式	250	※max1000	0.1~60	φ6	8	11kw	押釦スイッチ	インバータ	○	○	
5	吊物ボタン	17	18,000	昇降	電動ドラム巻取式	230	※max1000	0.1~60	φ6	7	11kw	押釦スイッチ	インバータ	○	○	
6	吊物ボタン (天反1前吊)	1	16,000	昇降	電動ドラム巻取式	320	2000	3	φ10	5	3.7kw	押釦スイッチ	直入れ始動	○	○	
7	吊物ボタン (天反2前吊)	1	12,000	昇降	電動ドラム巻取式	240	1600	3	φ10	4	3.7kw	押釦スイッチ	直入れ始動	○	○	
8	照明ボタン	8	18,000	昇降	電動ドラム巻取式	230	1000	10	φ6	7	3.7kw	押釦スイッチ	インバータ	○	○	
9	大黒幕	1	18,000	昇降	電動ドラム巻取式	450	100	10	φ6	7	1.5kw	押釦スイッチ	直入れ始動	—	—	
10	ホリゾン幕	1	18,000	昇降	電動ドラム巻取式	450	100	10	φ6	7	1.5kw	押釦スイッチ	直入れ始動	—	—	
11	天井反射板1 (後吊)	1	図示	昇降	電動ドラム巻取式	3400	100	3	φ12	5	5.5kw	押釦スイッチ	直入れ始動	—	—	フレキシブル反射板 (仕上げ材:天然木練り付OSCL)
12	天井反射板2 (後吊)	1	図示	昇降	電動ドラム巻取式	2700	100	3	φ12	4	5.5kw	押釦スイッチ	直入れ始動	—	—	フレキシブル反射板 (仕上げ材:天然木練り付OSCL)
13	正面反射板	1	図示	昇降	電動ドラム巻取式	7100	0	3	φ12	4×2	3.7kw×2	押釦スイッチ	直入れ始動	—	—	2段昇降式
14	音響反射板用看板ボタン	1	9000	昇降	電動ドラム巻取式	30	100	6	φ4	4	0.4kw	押釦スイッチ	直入れ始動	—	—	正面反射板に内設
15	側面反射板	2	図示	昇降	電動ドラム巻取式	7100	0	3	φ18	4	3.7kw×2	押釦スイッチ	直入れ始動	—	—	2段昇降式
16	東西幕 (幕レール共)	2	13,300	固定	手引開閉式	100	100	—	—	—	—	—	—	—	—	開閉レール3分割 (2m+6.8m+4.5m)

※道具バトンの速度と積載量

速度	積載量
0.2~30 m/min	1000 kg
0.2~60 m/min	500 kg

一点吊機構仕様一覧表

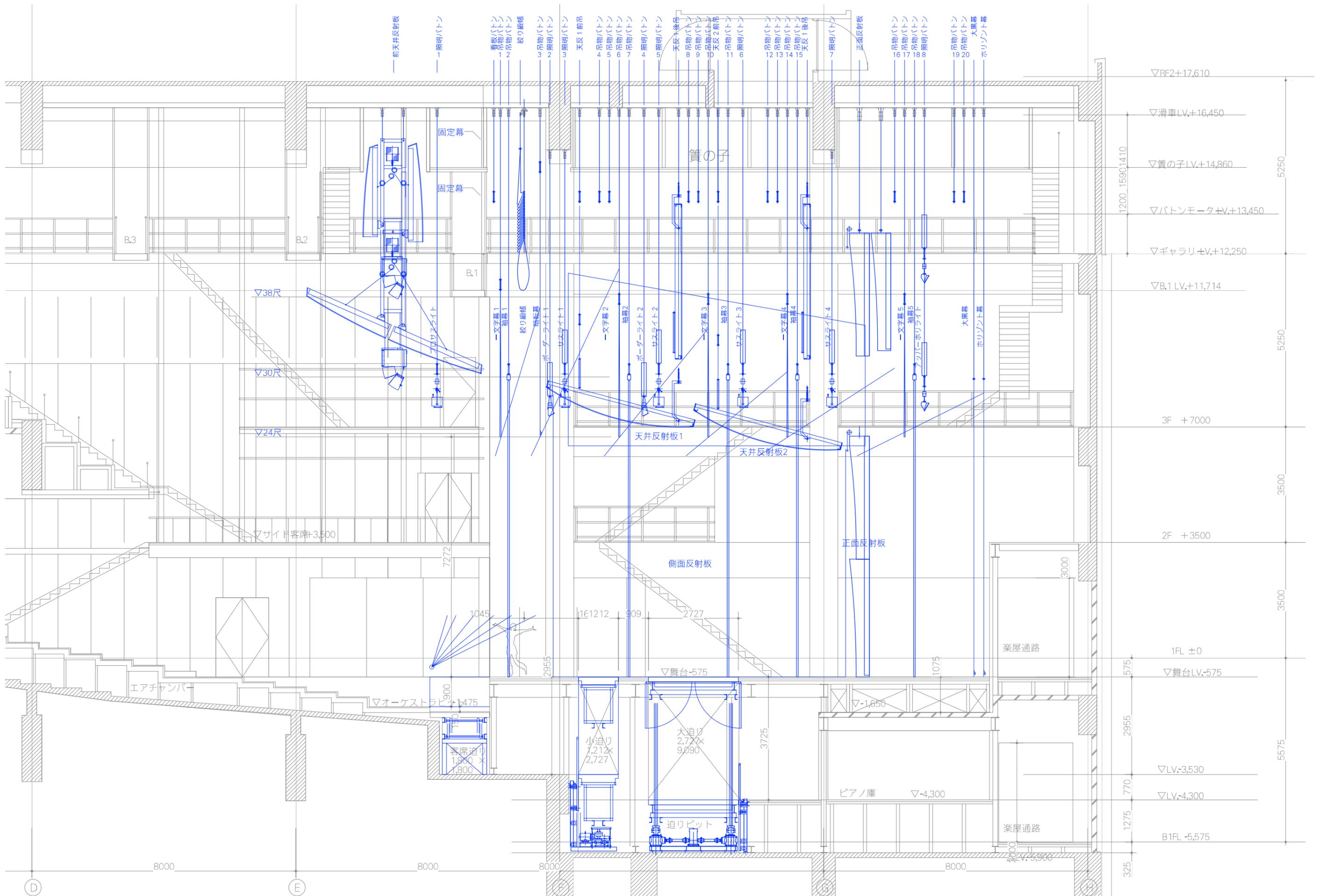
No.	装置名称	台数	寸法 (mm)	駆動方式	機構方式	自重 (kg)	積載量 (kg)	速度 (m/min)	ワイヤー径	吊数	動力	操作方式	制御方式	レベル設定表示	過負荷検知表示	備考
1	一点吊装置	6	図示	昇降	電動ドラム巻取式	10	200	100	φ6	1	5.5kw	押釦スイッチ	インバータ	○	○	

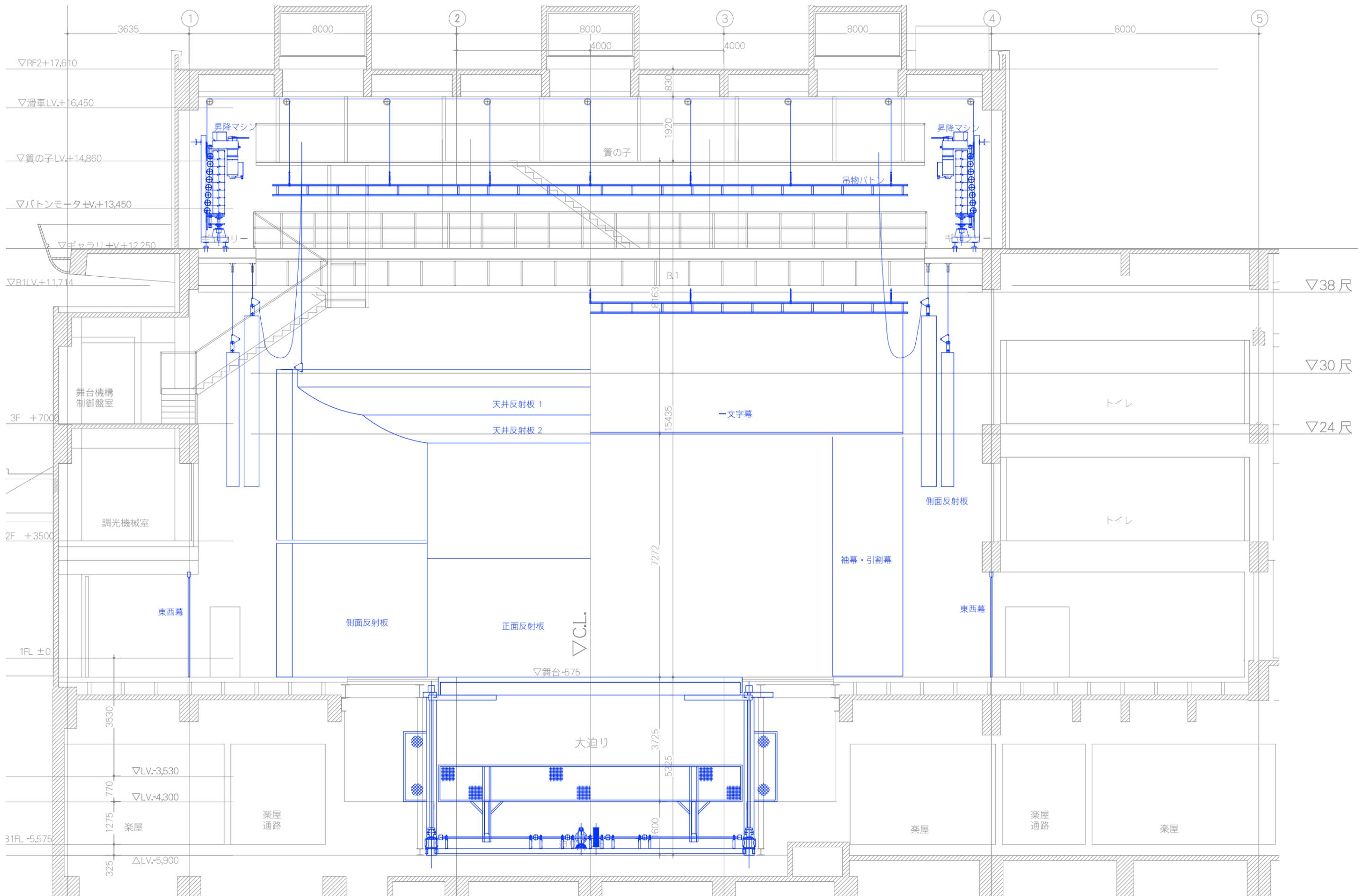
床機構仕様一覧表

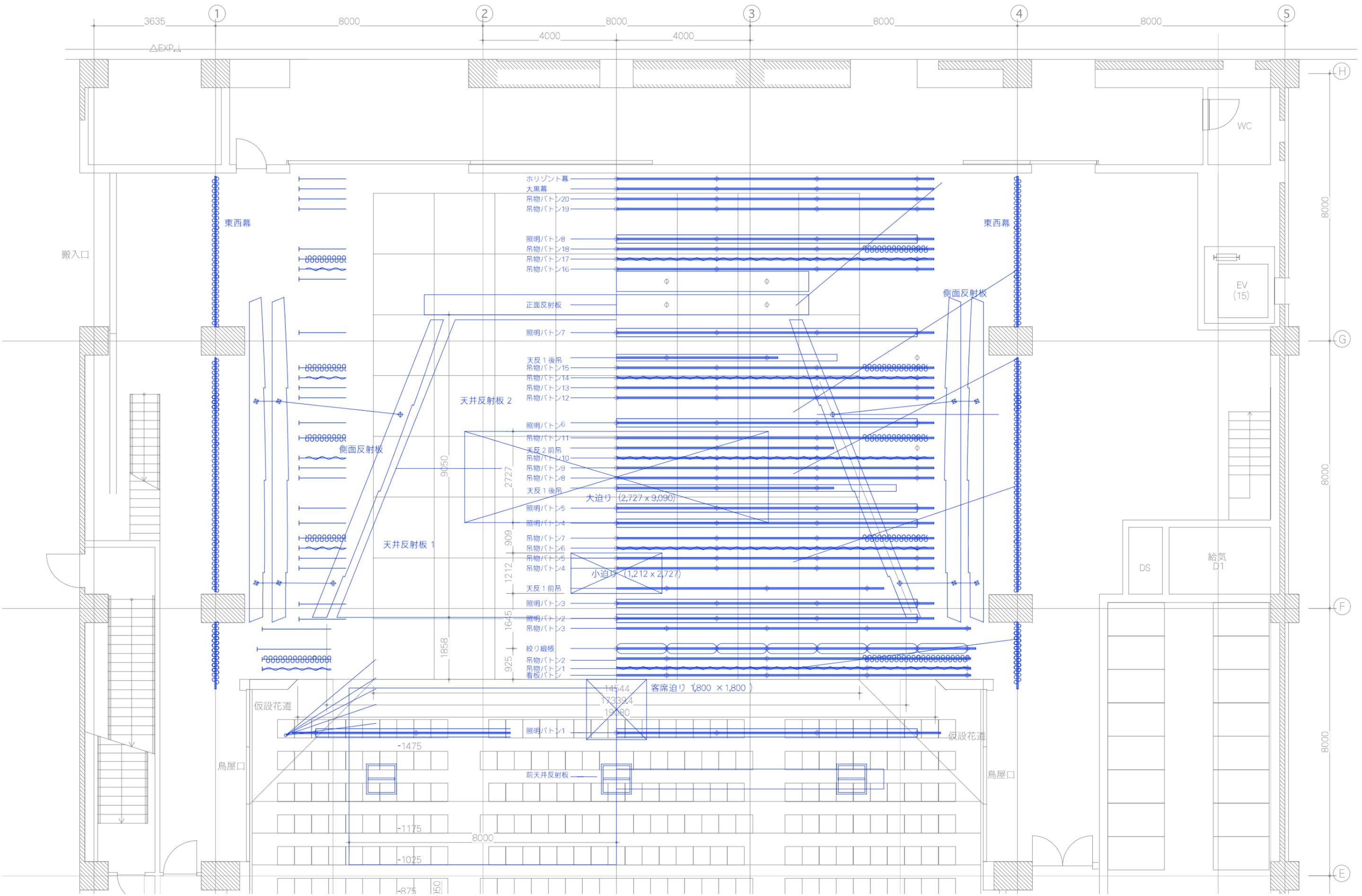
No.	装置名称	寸法 (mm)	面積 (m ²)	機構方式	台数	駆動方式	運転時積載量 (kg/m ²)	停止時積載量 (kg/m ²)	速度 (m/min)	ストローク (mm)	停止箇所	動力	操作方式	制御方式	備考
1	小迫り	2727×1212	約3.3	昇降	1	スクリュ-式	100	500	6	2955	2	3.7kw	押釦スイッチ	インバータ	スライド式落下防止板 (電動0.4kw) , 奈落昇降手摺 (連動) 付
2	大迫り	9090×2727	約24.3	昇降	1	スクリュ-式	100	500	6	3725	2	22kw	押釦スイッチ	インバータ	旋回式落下防止板 (電動0.75kw×2) , 奈落昇降手摺 (連動) 付
3	客席迫り	1800×1800	約3.2	昇降	1	クロスレバ-式	100	500	1	1050	3	1.5kw	押釦スイッチ	直入れ始動	床仕上げパネルは、建築工事

舞台幕地仕様一覧表

No.	装置名称	幕地材質	幕幅 (mm)	幕丈 (mm)	ヒダ数	製作数	備考
1	絞り緞帳	ベルベット	20,000	16,000	2倍ヒダ	1	
2	暗転幕	ウ-ルサ-ジ	20,000	8,000	ヒダなし	1	
3	一文字幕	ウ-ルサ-ジ	20,000	4,000	ヒダなし	1	
4	一文字幕	ウ-ルサ-ジ	18,000	4,000	ヒダなし	4	
5	袖幕	ウ-ルサ-ジ	4,500	9,000	ヒダなし	10	
6	大黒幕	ウ-ルサ-ジ	18,000	9,000	ヒダなし	1	
7	ホリゾン幕	PVC ホワイト	18,000	9,000	ヒダなし	1	
8	固定幕1	ウ-ルサ-ジ	24,000	1,800	ヒダなし	1	
9	固定幕2	ウ-ルサ-ジ	24,000	3,600	ヒダなし	1	
10	東西幕	ウ-ルサ-ジ	1,800	3,000	ヒダなし	16	

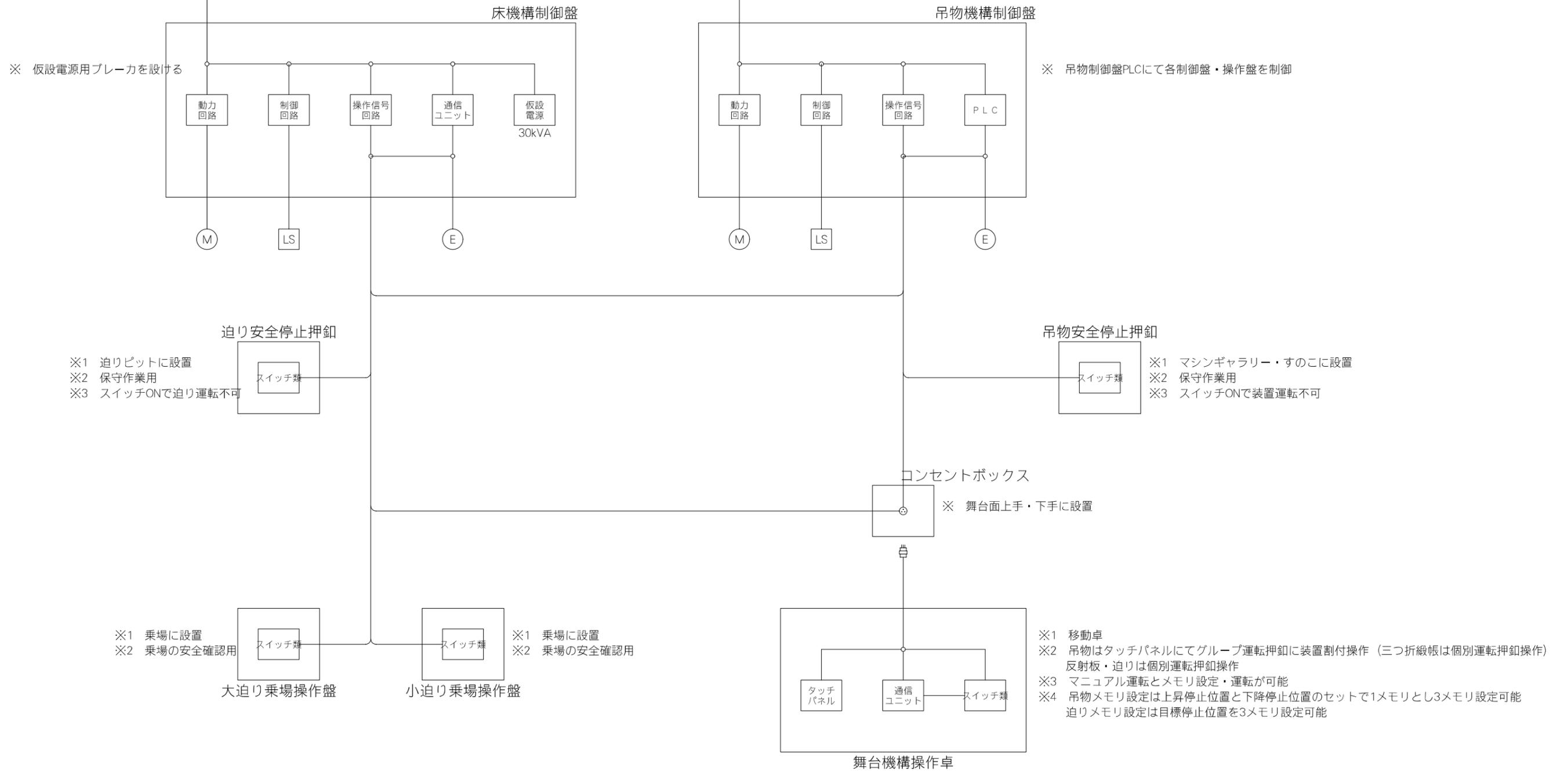






床電源容量
 大迫り・小迫り同時起動時
 3φ 3W 200V 60Hz 定格時：42kVA 始動時：103kVA
 1φ 2W 100V 60Hz 15A
 接地線：INV用Ed×1、一般動力用Ed×1、計装用Ec×1

吊物電源容量
 吊物ボタン6台同時起動時
 3φ 3W 200V 60Hz 定格時：94kVA 始動時：190kVA
 1φ 2W 100V 60Hz 15A
 接地線：INV用Ed×1、一般動力用Ed×1、計装用Ec×1



吊物電源容量

吊物バトン6台同時起動
 3φ 3W 200V 60Hz 定格時：94kVA 始動時：190kVA
 1φ 2W 100V 60Hz 15A
 接地線：INV用Ed×1
 一般動力用Ed×1
 計装用Ec×1

吊物制御盤発熱量

非稼動時（キースイッチOFF時）：1679W(1444kcal)
 稼動時（稼働率1%）：2410W(2073kcal)

床電源容量

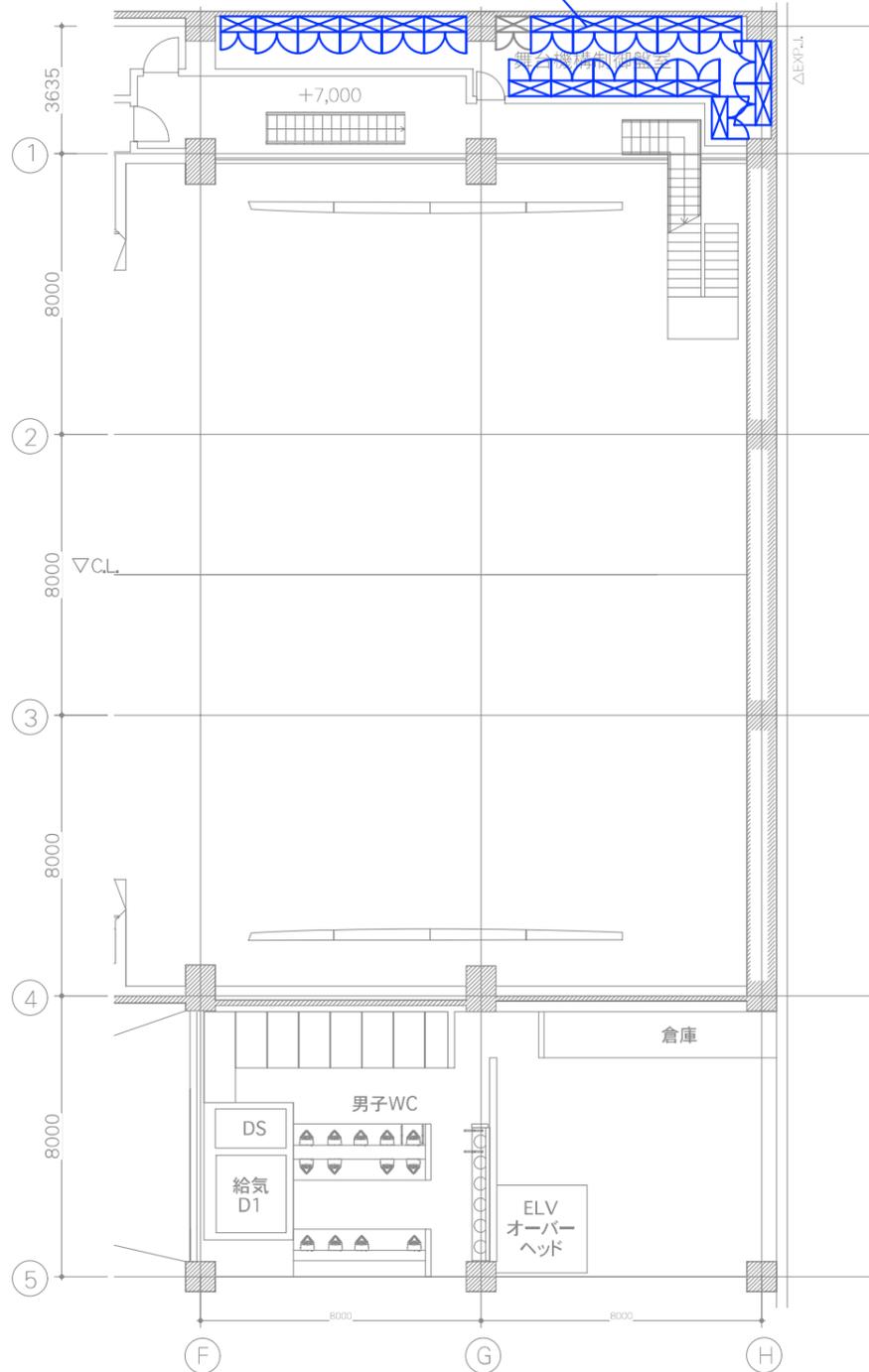
大迫り・小迫りの同時起動
 3φ 3W 200V 60Hz 定格時：43kVA 始動時：103kVA
 1φ 2W 100V 60Hz 15A
 接地線：INV用Ed×1
 一般動力用Ed×1
 計装用Ec×1

床制御盤発熱量

非稼動時（キースイッチOFF時）：774W(666kcal)
 稼動時（稼働率6%）：941W(809kcal)

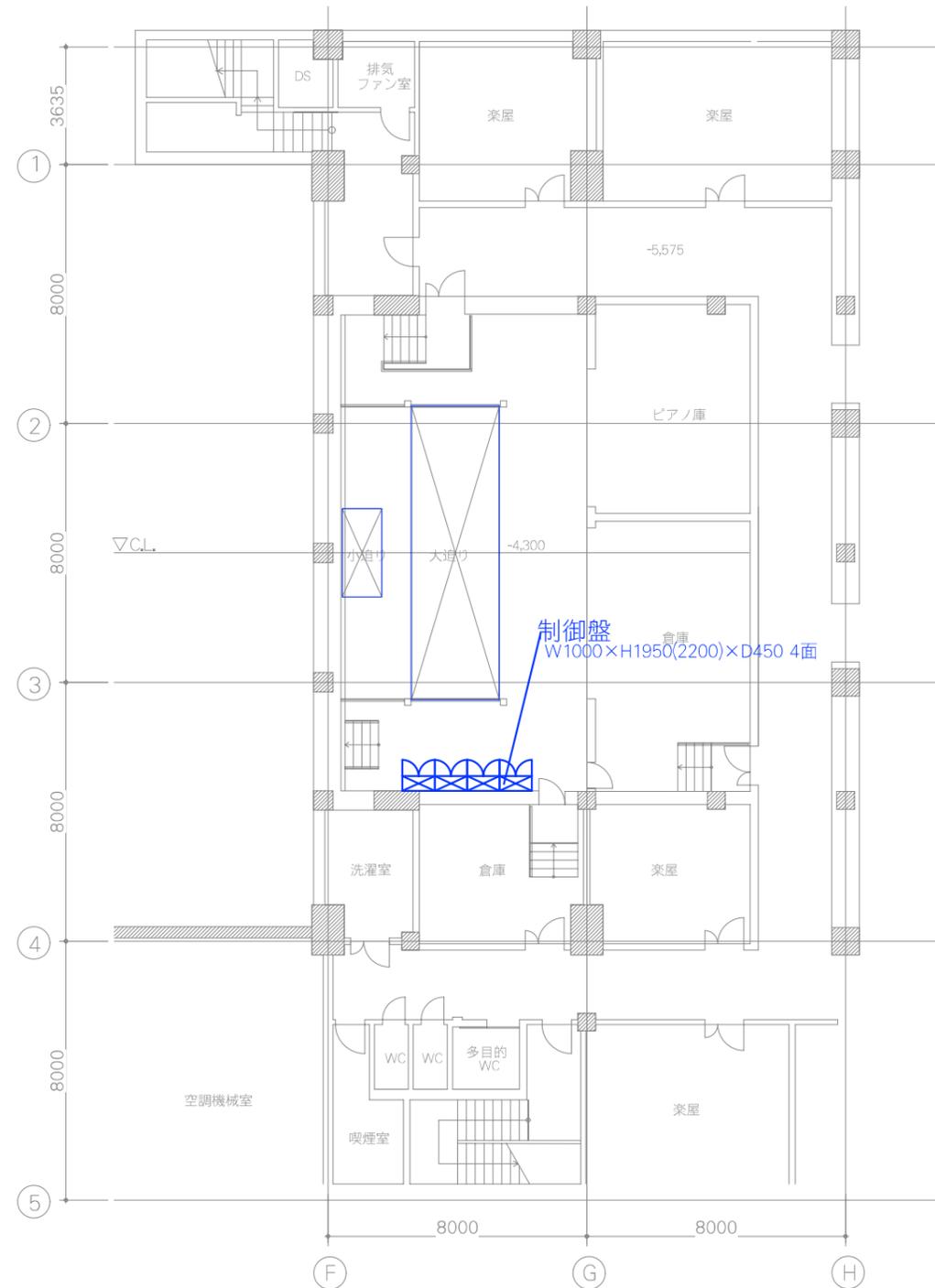
舞台機構制御盤室に収まらない4面分はすのこ等別の場所に設置とする
 すのこ詳細図完成後検討（反射板用）

制御盤 W1000×H1950(2200)×D450 2面
 W1200×H1950(2200)×D450 18面



3階吊物機構制御盤配置図

(制御盤内に仮設電源30kVA用ブレーカを設ける。迫りとの同時使用はなし)



奈落床機構制御盤配置図